

第3章

基本計画

3. 活力ある産業



産業振興

3. 活力ある産業

産業振興

① 農業の振興

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

担い手となる中心経営体への市内耕地面積の集積率 **70%**

将来的に農地の担い手となる中心経営体へ集積していけるように、計画的な農地集積、規模拡大に向けた支援など、効果的な農業支援を行い、農業経営の合理化、安定化に取り組みます。

■ 現 状

- 農業従事者の高齢化と後継者不足により、農村を取り巻く環境は厳しい状況です。
- 農業機械や資材の高騰により、規模の小さい農家の営農継続が困難となっています。
- 野生鳥獣による農作物被害が、後を絶たない状況です。

■ 課 題

- 担い手への農地集積を促進し、経営規模の拡大や作業効率をあげることにより、生産性を向上させる必要があります。
- 地域の話合い等を通じて、中心経営体への農地の集約化に関する将来方針を定める「人・農地プラン」の作成が必要です。
- 担い手となる中心経営体の規模拡大に応じた機械等への支援が引き続き必要です。
- 耕作放棄地が増えない対策が必要です。

■ 主な取組

- 「人・農地プラン」の作成を支援します。
- 「がんばる認定農業者等支援事業補助金」による機械等導入の補助をします。
- 基盤整備を進めることで農業経営の転換と農業環境の改善を図り、担い手への集積を推進します。
- 有害鳥獣対策として、捕獲活動、防護柵の設置などを支援します。
- **New!!** 遊休農地の解消と防止を図るシステムについて、早期に関係機関と研究を進め、農地の有効活用を図ります。

■ 関連計画

- 松阪市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 松阪市鳥獣被害防止計画

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
市内耕地面積のうち、担い手となる中心経営体への集積率	48.1%	60%	↑
実質化された人・農地プラン地区数	100地区	120地区	↑
野生鳥獣による農作物被害額の半数を占めるイノシシによる稲の被害額	6,643千円	5,978千円	↓

市民ができること

- ◆ 農業に関する話し合いや出会い作業の機会があれば参加しましょう。
- ◆ 防護柵の設置と、野生鳥獣の餌となる収穫放棄された果樹や農作物をなくしましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 有害鳥獣捕獲従事者が減少しているため、若い方の参加を促す取組支援が必要です。
- ロボット技術等を活用し、省力化などを可能にする「スマート農業」の取組支援が必要です。

3. 活力ある産業

産業振興

② 林業の振興

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

木材の安定供給 **20%アップ** (R1年度 49,000m³)

原木の安定供給(木材生産)、森林の公益的機能(森林環境保全)、地域材の需要拡大(地域材利用)を3本柱として林道整備や森林整備の促進、森林資源の活用に向け取り組みます。

■ 現 状

- 木材需要や価格の低迷によって、森林所有者の林業に対する意識が低下しています。
- 森林組合を核として、森林の集約化を行い効率的な森林整備に取り組んでいます。
- 地元林業事業者などと協力しながら、地域材の販路拡大に向け取り組んでいます。

■ 課 題

- 森林所有者の高齢化により、森林整備の基本となる境界明確化が重要となります。
- 低コスト化に向けた高性能林業機械を活用するため、林道・作業道の整備をする必要があります。
- 植える・育てる・収穫するという健全な森林のサイクルを行う必要があります。

■ 主な取組

- 林道・作業道の開設や林業機械による木材搬出を支援し、素材生産量の増加に取り組めます。
- 森林の持つ公益的機能を発揮させるため、計画的な森林整備に取り組めます。
- 地域材を活用した木造住宅の建築促進及び製材製品などの販路拡大に取り組めます。
- 未利用材を木質バイオマス発電の燃料として有効活用に取り組めます。

New!! 木材の高付加価値化(液体ガラス加工)を図り、新たな地域材の需要拡大に取り組めます。

■ 関連計画

- 松阪市バイオマス活用推進計画
- 松阪市森林整備計画
- 松阪市公共建築物等木材利用方針

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
間伐による森林整備面積(累計)	588ha	3,400ha	↑
未利用間伐材の木質バイオマス活用量	21,730t	25,000t	↑
主伐による木材生産量	24,880m ³	31,000m ³	↑

市民ができること

- 森林が持つ役割について理解を深めましょう。
- 木とのふれあいにより、木の温もりや香りを感じましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 中山間地域の人口減少にともない、森林の管理がより大きな課題となっていきます。今後、管理されていない森林の増加が予想されるため、森林所有者の意向を聞き取り、市が適正な森林管理の促進に取り組む必要があります。

3. 活力ある産業

産業振興

③水産業の振興

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

総水揚金額 10%増 (H30年度 4億2千万円)

自然環境に左右されやすい水産資源の保護、回復に努めることで、漁業経営の安定化を図り、地元水産物のPRに努めます。

■ 現 状

- 自然環境の影響などにより、水産資源が減少しています。
- 消費者に対する水産物の認知度が低い状況です。
- 漁業従事者の減少と高齢化が進んでいます。

■ 課 題

- 水産資源保護には漁場環境の改善が必要です。
- 地元水産物の知名度向上を図り、普及させる必要があります。
- 漁獲量の安定化のため、新たな水産物の研究など、関係機関と連携し進めていく必要があります。
- 効率的な作業が行えるよう、機械化や先端技術の導入により作業の省力化を図る必要があります。

■ 主な取組

- 水産資源の回復に向けて、種苗放流を継続的に行います。
- アサリ資源保護のため、覆砂、かぶせ網を継続的に行います。
- 地元水産物の普及PRのため、出前教室など各種イベントの開催に取り組みます。

New!! 漁協、県水産研究所などと連携し、新たな水産物の研究に取り組みます。

- 安全に漁業が行えるよう、漁港や航路の整備を図ります。

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(年度)	目標(R5年度)	目標種別
総水揚金額	4億2千万円(H30)	4億4千万円	↑
ガザミ放流による漁獲量の増加	3t (R1)	10t	↑

市民ができること

- ◆ 地元の海産物を食べましょう。
- ◆ 地元の海産物を市内外にPRしましょう。
- ◆ 水産資源を保護しましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 漁業従事者の減少と高齢化が進む中、効率的な作業の実現と、漁業経営の安定化を図るため、ロボット技術など先端技術の導入を支援する必要があります。

3. 活力ある産業
産業振興

④ 商工業の振興

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

商工業者が元気に活躍できるまち

地域経済の根幹をなす中小企業、小規模事業者について、新型コロナウイルス感染症による経済的損失から回復し、再び元気を取り戻すべく、リスク対策や業務の効率化などを進め、経営基盤の強化を図り、地域経済の活性化をめざします。

■ 現 状

- 新型コロナウイルス感染症により、様々な業種の経営に大きな影響を及ぼしており、特に中小企業、小規模事業者においてその影響が深刻です。
- 創業・第二創業を支援する制度や関係機関の整備に伴い、創業しやすい環境が整いつつあります。
- 中心市街地をはじめとする市内の商業活動の低迷が続いています。

■ 課 題

- 新型コロナウイルス感染症による経済的損失から、中小企業、小規模事業者の経営を維持するため、個々のケースに対応したきめ細やかな支援が必要です。
- 創業者・第二創業者ニーズの掘り起こしが必要です。
- 中心市街地をはじめとする市内全域ににぎわいの創出が必要です。

■ 主な取組

- 商工業事業者が抱える個々の課題に対し、相談から解決まで事業者に寄り添う支援に取り組めます。
- 創業者・第二創業者に対して積極的な支援を行います。
- 中心市街地の活性化に向けた商業活動を推進します。

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
相談支援から創業につながった人数	26人	30人	↑
産業支援センターへの相談件数	681件	700件	↑
中心市街地営業店舗数	237件	242件	↑

市民ができること

- ◆ 地元の企業とお店を応援しましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 店主の高齢化に伴い、技術や事業の承継が困難となり、店舗が減少していく傾向にあるため、後継者育成対策などの店舗に対するきめ細かな支援が必要です。

3. 活力ある産業

産業振興

⑤ 企業誘致・連携の推進

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

製造品出荷額等 **10%アップ** (H30年 401,696百万円)

成長産業や企業重要拠点(本社、マザー工場、開発施設等)の誘致・投資促進や、企業間・産学官金連携により、景気変動を受けにくい強靱で多様な産業構造を構築し、地域経済の活性化・雇用確保をめざします。

■ 現 状

- 景気動向など様々な要因により、工場等の再編、拡大・縮小などの動きが見られます。
- ヘルスケア産業など成長が期待できる産業の集積が進んでいます。
- 様々な規制や産業用地・人材の確保などが、企業進出や設備投資において課題となっています。

■ 課 題

- 成長産業や企業重要拠点等の誘致や新規投資を促進することにより、市内における継続的な企業の投資を呼び込み、強靱で多様な産業の集積を図る必要があります。
- 企業間・産学官金連携による共同開発や販路拡大等を促進し、市内事業者の経営力向上を図る必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症の影響によるサプライチェーンの国内回帰や、アフターコロナの社会・事業環境に対応した事業者の取組を促進する必要があります。
- 産業用地の確保や各種規制との調整など、企業の投資促進のための環境整備を進める必要があります。

■ 主な取組

- 市内への新規企業進出や設備投資に対し、産業用地の確保を含め立地場所の提案から工場棟建設にかかる行政手続き、操業後のフォローまで支援するワンストップサービスを進めます。
- 市内事業者の経営力向上のため、マーケティングから販売促進に至る切れ目ない支援を行います。
- 成長産業や企業重要拠点等の誘致や、企業間・産学官金連携を推進していきます。
- 都市圏での企業誘致ネットワークを拡充していきます。

■ 関連計画

- 松阪市企業立地戦略

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
企業立地件数(累計)	3件	12件	▲
市内事業者に対する連携支援件数(累計)	11件	40件	▲

市民ができること

- ◆ 市内企業の製品・サービスや社会貢献活動に興味を持ち応援しましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 若年層のU・Iターン就職を促進するため、卒業後に就職できる企業重要拠点(本社、マザー工場、開発施設等)の誘致が必要です。

3. 活力ある産業

産業振興

⑥ 観光・交流の振興

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

旅先に選ばれ続ける観光地

(モニタリング対象10施設入込客数増減率(平均) R1年比120%)

観光客の情報を分析・活用することで、効果的な観光プロモーションを展開し、旅行の目的地として選ばれ続けることで地域産業の活性化と持続的な成長につなげます。

■ 現 状

- 伊勢志摩方面への観光の立ち寄り場所選ばれており、まちなかの観光入込客数は増加しているものの、全体としてはほぼ横這いで推移していましたが、新型コロナウイルス感染症により観光産業は全国的に深刻な影響を受けています。
- 全国的に外国人観光客が増加しておりインバウンド市場は拡大を続けていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により急激な冷え込みを見せています。
- 大阪・関西万博[2025 (R7) 年] やリニア中央新幹線開業[2027 (R9) 年] など、観光にとって重要なプロジェクトが多数予定されています。

■ 課 題

- 旅行者目線でブラッシュアップさせた観光誘客の推進に取り組み、松阪市の認知度を高める必要があります。
- 旅行者の関心や嗜好にそった観光コンテンツやサービスの情報をタイムリーに提供し、客が客を呼ぶ好循環の確立に繋げていく必要があります。
- ウィズコロナ、アフターコロナにおける旅行者のニーズを的確にとらえていく必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症収束後の国内観光需要の高まりに対応しつつ、インバウンド市場の回復を見据えたプロモーション等を進める必要があります。

■ 主な取組

- **New!!** 松阪牛をはじめとした松阪市ならではの観光資源の磨き上げを行い、国内外からの誘客に繋がります。
- **New!!** 大阪・関西万博やリニア開通など、様々なビッグチャンスを見据えて大都市圏において松阪市の魅力を発信します。
- **New!!** デジタルツールを積極的に活用した国内外の旅行者に向けたプロモーションを展開します。
- **New!!** データの収集・分析により旅行者のニーズに応じた情報発信を行います。
 - 広域で観光圏を形成するために、近隣市町とともに観光PRなどを展開します。

■ 関連計画

- 松阪市観光振興ビジョン
- 観光交流拠点施設等整備事業基本構想・基本計画

● 数値目標 ●

項目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
モニタリング対象10施設入込客数増減率(平均)	100%	110%	▲
観光消費額(推計)増減率	100%	110%	▲
モニタリング対象宿泊施設宿泊者数増減率	100%	105%	▲

市民ができること

- ◆観光に対する関心を持ち、理解を深めましょう。
- ◆魅力ある観光地の形成や情報発信を積極的に行いましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- ユニバーサルツーリズムへの対応が必要です。

3. 活力ある産業

産業振興

⑦松阪牛・地域ブランドの振興

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

産品想起率市区町村ランキング 全国1位

松阪牛の生産振興等により松阪牛ブランドの伝統を守り地域振興を図ります。中長期的なブランド化戦略として、松阪ブランド認定制度を活用し認知度の高い松阪牛に次ぐ特産品を発掘し、全国へ発信することで松阪市の知名度及び特産品の認知度の向上を図り、販路拡大とともに消費者の拡大に努めます。

■ 現 状

- 優れた特産品を数多く有しているが、その情報発信が効果的に行えていない状況です。
- ふるさと応援寄附金は年々増え続けている状況にあるが、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響が今後、寄附者にどのような影響を与えるかは不透明です。
- 松阪牛ブランドの名声を築きあげてきた特産松阪牛となる兵庫県産素牛(子牛)の価格が高騰しています。
- ペットボトル飲料の普及により、茶葉の消費量が減少しています。

■ 課 題

- ふるさと応援寄附金を増加させるため、特産品や市の魅力等の効果的な情報発信が必要です。
- 子牛価格の高騰による肥育農家の経済的負担を軽減することが必要です。
- 特産松阪牛の出荷頭数を維持していくことが必要です。
- 松阪茶の普及・PR活動を積極的に実施することが必要です。

■ 主な取組

- ふるさと応援寄附金に関する自主サイト等を構築し、寄附金の拡大を図ります。
- 地場産品の発掘と品質向上、販路拡大に向けた取組を実施します。
- 特産品情報を集約した検索サイトを構築し、全国への特産品PRに努めます。
- 市内の特産松阪牛肥育農家を継続的に支援します。
- 国内外で特産松阪牛のPRを継続して行います。
- 松阪市茶業組合と連携し、松阪茶の生産振興に取り組みます。

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
ふるさと応援寄附金の額	11億7,100万円	20億円	↑
ふるさと応援寄附金の返礼品として「松阪牛」を選ばれた方の人数	20,366人	35,000人	↑
関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率	30%	30%	→

市民ができること

- ◆ 地産地消に努めましょう。
- ◆ 松阪牛を「知って」「食べて」、ブランド力を感じましょう。
- ◆ 各種松阪茶イベントに参加し、お茶に親しむ機会を増やしましょう。

3. 活力ある産業

産業振興

⑧雇用・勤労者福祉の充実

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

市民が地元で就職でき、勤労者が働きやすいまち

求職者の状況に応じた就労支援に取り組み、地元企業においても必要な人材の確保ができるようにすることで、地元雇用の活性化につなげます。

■ 現 状

- 多くの若者が県外に進学し、地元に戻らずそのまま就職している状況です。
- 障がい者の雇用率が伸び悩んでいる状況です。
- 多くの女性が出産・子育てなどで仕事を離職又は中断せざるを得ない状況です。

■ 課 題

- 地元企業の魅力を発信し、若者の地元就職につながる支援が必要です。
- 地元企業の求人活動への支援及び障がい者雇用への理解と協力が必要です。
- 若者・中高年・女性・障がい者・外国人などの求職者の状況に応じた求職活動への支援が必要です。

■ 主な取組

New!! 就職マッチング支援サイトを活用し、若者の地元就職の増加に取り組みます。

- ハローワークや商工団体と連携し、障がい者の就労増加に取り組みます。
- 求職者に応じた求職活動に対する支援に取り組みます。

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(年度)	目標(R5年度)	目標種別
高校生の地元就職率	40.7% (H26~30平均値)	43.0%	↑
障がい者雇用率	1.97%(R1)	2.30%	↑
就労の広場からつながった就職者数	36人/年(R1)	40人/年	↑

市民ができること

- ◆ 障がい者雇用への理解を深めましょう。
- ◆ 地元の良さを再認識してもらい、地元愛や誇りを育みましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 高齢化及び少子化の進行による労働力人口の減少への対応として、若者の地元就職及び進学等で転出した若者のUターン就職を促すため、地元企業の魅力と就職情報の発信を行うことで雇用の場を提供するとともに、高齢者の希望に応じた就業機会を開拓・確保・提供する取組が必要です。